

学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校

2026 年度 第 1 回学校関係者評価委員会 議事録

日時 2026 年 4 月 17 日 (金) 16:30~17:30

委員 品濃町内会関係者様、西横浜国際病院関係者様、東戸塚記念病院関係者様、
亀田森の里病院関係者様、学校長、担当グループグループ長、担当グループ主幹、教務グループリーダー、教務グループサブリーダー 2 名、ほか教職員 4 名

内容

I. 校長挨拶

第 1 回学校関係者評価委員会にご出席いただきありがとうございます。3 月は理学療法学科 74 名、作業療法学科 42 名、合計 116 名が卒業しました。国家試験では現役生、理学療法学科 1 名が不合格となりました。作業療法学科は全員が合格でした。また、4 月からは理学療法学科 83 名、作業療法学科 41 名、合計 124 名の新入生を迎えています。教職員一丸となり学校運営、学生支援をしっかりと行って参ります。本日はよろしくお願いいたします。

II. 各委員の挨拶

各委員の挨拶が行われた。

III. 自己評価表(全て資料に基づき報告)

自己評価表に基づき、各担当より 2025 年度後期達成状況と 2026 年度前期課題について報告がなされた。

IV. 質問・意見

重田委員：

学生の社会性指導の部分で、最近の学生には必要性が高いと思われるが、学校での実践方法を伺いたい。

杉山 (FD 担当)：

概論の授業を通して教授を行っている。また、学生生活を通して、その都度指導を行っている。

例) 教務室に入ったら帽子をとる。入校証を付ける。授業中にガムを噛まない等。

笠井委員：

学校運営の情報公開や業務の効率化についての DX 化について聞きたい。当病院でも DX 化を進めている。生成 AI を使って勉強会の資料作成等を行っているが、学校ではどのように活用しているのか。

瀬古グループリーダー：

岩崎学園で設計を行った、生成 AI が利用可能となっている。教員ごとに AI リテラシーが違い活用方法はまちまちである。授業資料作成に活用している教員が多い。また、本校では AI 規定を作成している。学生が実習先で個人情報の取り扱い方法などを間違わないように、正しく AI 利用できるように対策を続けている。

瀬古グループリーダー：

病院（西横浜国際病院）での AI 活用はどうか。

笠井委員：

リハ部のミーティング議事録やマニュアル制作に利用している。予後予測ソフトの開発にも利用を検討している。懸念事項として若い職員程、根拠を考えなくなるのが心配。AI 利用が加速していく中で、学生も結果だけに注目をするのではなくて、どうしてそうなるのかを考えてほしい。

渡邊グループ長：

学生が AI リテラシーの授業を受けている。岩崎学園は IT 関係の学校もあるので AI に精通している職員もいる。今年度も活用を進める予定。シラバスの作成や会議議事録の音声作成等に生かしていきたい。

松田委員：

地域から見えていて新入生の元気な姿が目られて、地域として活性化に繋がり頼もしい。引き続き、地域の運動会や町内会の活動にも参加してほしい。ボランティアの参加を通して、地域の活性化にも貢献してほしい。

戸羽委員

留年・退学のサポートについて。学校経営の根幹に係わる部分かと思うが、新科目による影響が報告されたが、サポート方法として、補講以外の仕組みはあるのか、新しく取り組みがあれば聞きたい。

田中サブリーダー：

1 学年 15 名程度強化組を実施している。生活習慣の指導も含めている。勉強の方法を十分理解できていない学生も多い為、授業の受け方、ノートイクの方法などリテラシーの授業・指導を始めている。強化組とも連動して、全体でシステマテックに実施して行く。その後も、個別指導継続して、社会に出た際に学生が自立していけるように育てたい。学生が主体的に行動できるように指導していきたい。

重田委員：

留年・退学や 27 期生の再試験率が高いのはなぜか。

田中サブリーダー：

内部疾患の理学療法では学ぶボリュームが増えているため、カリキュラムに新規科目として追加した。学生の苦手意識が高いと推察している。新規科目については先輩からの情報共有も希薄になる為、そのような影響も考えられる。

戸羽委員：

リハビリテーション教育評価機構の受審についてどのような内容があるのか。

瀬古グループリーダー：

評価機構の受審は 5 年で更新となる。評価内容が大学寄りになっており、必要な資料も膨大となっている。戸惑いながら進めている。

戸羽委員：

分野でいうと傾向はあるのか。

瀬古グループリーダー：

満遍なく、学校のことを丸ごと評価される。教員の要件や実習関連はもちろん、経営的などところまで踏み込んでいる。

戸羽委員：

診療参加型実習に移行していったが、また変更していく内容などあるのか、現場の指導にも影響するのでなにか動向があれば知りたい。

瀬古グループリーダー：

現時点では指定規則の改定についてのパブリックコメントもなく、更新に向けて進んでいない様子。当初は更新時期の目安を 5 年後と定めていたが、動きはない。そのため実習形態としてもしかばらくは変化ないと思われる。何か情報が入れば共有していきたい。

V. その他

次回の会議について(田中サブリーダー)：

次年度度第 2 回会議は、2026 年 10 月 16 日(金)16:30 に開催予定です。よろしくお願いいたします。

以上

文責：武田